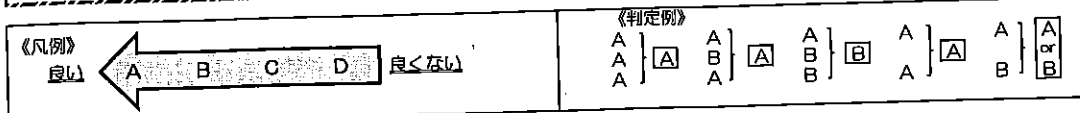


事業名	花の応援団				
ジャンル	家庭教育	青少年教育	成人教育	☑ 団体育成	
日程	令和4年4月～令和5年3月	講師	-	参加費	無料
対象者	園芸ボランティア	参加者数 (延べ)	60人(令和4年12月現在)	募集方法	公民館だより
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 園芸活動を通して仲間づくりをし、生きがいのある生活を楽しむことを目的とする。 会員の園芸への知識の向上を図る。 				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 年間12回の活動を計画している。 根郷公民館駐車場側花壇の手入れ、花の植え付け、チューリップの球根掘り、裏庭も含めた除草作業等を行う。 				
工夫	<ul style="list-style-type: none"> 会員が意欲を持って活動ができるよう、団体の主体性を尊重しながら支援を行った。 活動内容を市民に周知することで、学習意欲の向上を図った。 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> 20年以上にわたり、花壇の植栽や整備、草刈りなどの活動を続けてきたことで、公民館利用者の学習環境の向上に大きな役割を果たしてきた。 平成30年度の佐倉市教育功労者表彰式では、市の教育、学術または文化の振興などに顕著な功績のあったとして表彰された。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> 会員の減少と高齢化が問題である。15名前後で活動していた時期もあったが、近年会員は減少傾向にある。ちなみに令和4年度は10名となっている。 終了した花の苗の配布に替わる対応の改善が必要。 				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> 公民館が行う必要があるか。 市民や利用者のニーズに合っているか。 目的や役割が薄れていないか。 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業の優先度は高いか。
公平性	A	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に情報は流れているか。 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> 期待通りの成果が得られているか。 さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 市民の満足度は高いか。
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性はどうか。 事業運営に学習者が参画しているか。 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	<p>A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。</p> <p>C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。</p>
特記	<p>会員の減少と高齢化の問題に対しては、宣伝活動の強化や講座の開設などで、新規会員を増やしていきたい。また、終了した花の苗の配布に替わる対応としては、会員と相談しながら、代替案を行っていきたい。</p>	



次年度展望	①	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

根郷公民館・団体育成事業

◎事業名「花の応援団」

発表者：柳田 晴生

趣 旨

- ・園芸活動を通して仲間づくりをし、生きがいのある生活を楽しむことを目的とする。
- ・会員の園芸への知識の向上を図る。

ねらい

- ・花壇の手入れを通し、施設の美化に努め、利用者により良い学習環境を提供する。
- ・活動しながら交流し、地域の仲間づくりを促進する。
- ・活動を通し、園芸への知識向上を図る。

対 象 市民一般

日 程 原則第2月曜日、午前9時30分から2時間程度

参加費 無料

参加人数 延べ60名（令和4年12月現在）

募集方法 根郷公民館だより、チラシ等で募集

活動内容 年間12回の活動を計画している。花壇の手入れ、花の植え付け、チューリップの球根掘、施設の周囲も含めた除草作業等を行う。

工夫した点

- ・会員が意欲を持って活動ができるよう、団体の主体性を尊重しながら支援を行った。
- ・活動内容を市民に周知することで、学習意欲の向上を図った。

成 果

- ・20年以上にわたり、花壇の植栽や整備、草刈りなどの活動を続けてきたことで、公民館利用者の学習環境の向上に大きな役割を果たしてきた。
- ・平成30年度の佐倉市教育功労者表彰式では、市の教育、学術または文化の振興などに顕著な功績のあったとして表彰された。

課 題

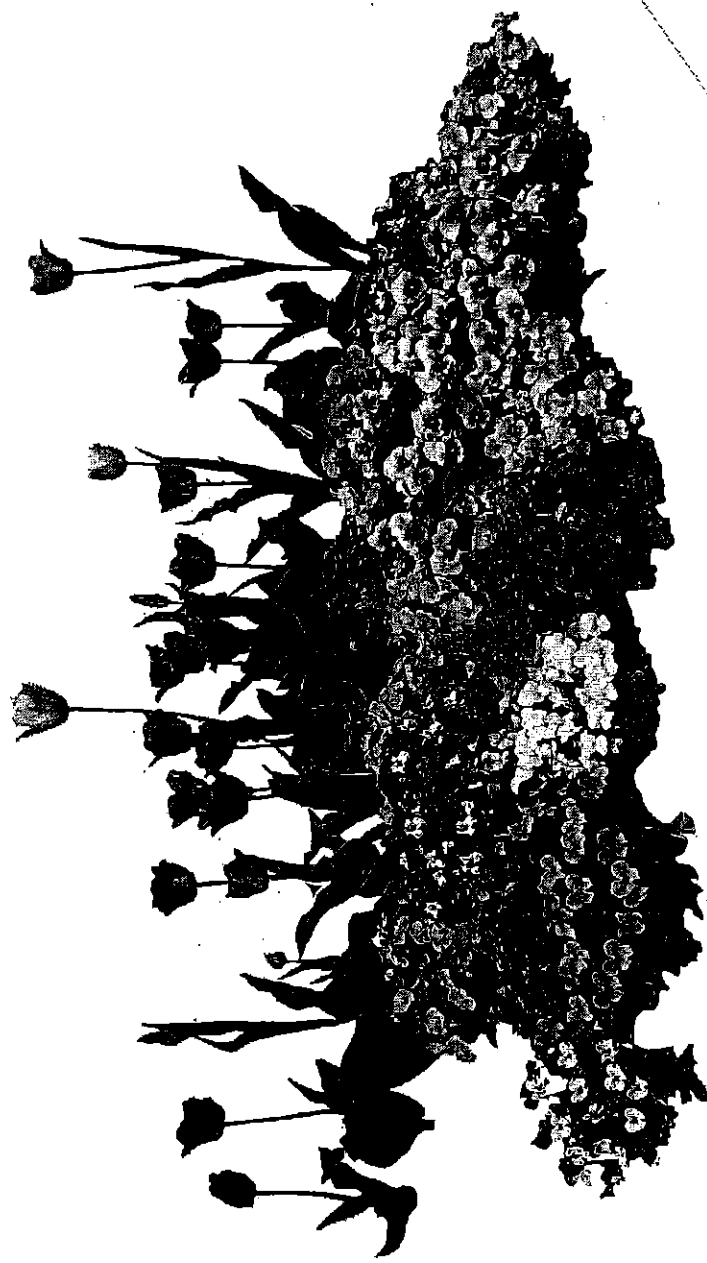
- ・会員の減少と高齢化が問題である。15名前後で活動していた時期もあったが、近年会員は減少傾向にある。ちなみに令和4年度は10名となっている。
- ・終了した花の苗の配布に替わる対応の改善が必要。

対策・今後の展望

- ・「根郷公民館だより」への継続的な募集記事の掲載、募集チラシを他の主催事業で配布、館内配架など宣伝の強化してゆく。
 - ➡新型コロナ対策の規制緩和に伴い、応募の増加が期待できる。
- ・花の栽培、庭の手入れなど関する園芸講座を開催し、新たな側面から市民にアピールする。
 - ➡団体の成立は平成11年開催の「園芸講座」からであり、新たな会員の掘り起こしが期待できる。
- ・花の苗の配布の代替策については、方法、時期などを考慮して会員と相談しながら計画的に進めていく。
 - ➡計画的に栽培することで、年間を通し開花するよう対応できる。

団体育成事業 『花の応援団』

佐倉市立根郷公民館 柳田 晴生



■ 趣旨

- ▶園芸活動を通して仲間づくりをし、生きがいのある生活を楽しむことを目的とする。
- ▶会員の園芸への知識の向上を図る。



■ ねらい

▶花壇の手入れを通し、施設の美化に努め、利用者により良い学習環境を提供する。

▶活動しながら交流し、地域の仲間づくりを促進する。

▶活動を通し、園芸への知識向上を図る。



↑活動前、作業の段取り決めや、情報交換を行う会員

■ 事業の概要

- ▶ 対象：市民一般
- ▶ 日程：原則第2月曜日、午前9時30分から2時間程度
- ▶ 参加費：無料
- ▶ 参加者数：延べ60名（令和4年12月現在）
- ▶ 募集方法：根郷公民館だより、チラシ等で募集
- ▶ 活動内容：年間12回の活動を計画している。花壇の手入れ、花の植え付け、チューリップの球根掘、施設の周囲も含めた除草作業等を行う。

平成4年度 花の応援団活動計画

月	日	場所等	予定作業
4	11	公民館	花壇等の草取り
	28	ふるさと広場	チューリップ球根掘り
5	9	公民館	花壇等の草取り
6	13	公民館	花苗植え替え準備
		花苗の配布	花苗の受け取り・植え付け
7	11	公民館	花壇等の草取り
8			休会
9	12	公民館	花壇等の草取り
10	17	公民館	花壇等の草取り
		花苗の配布	花苗の受け取り・植え付け
11	14	公民館	花壇等の草取り
12	12	公民館	花壇等の草取り
1			休会
2			休会
3	13	公民館	花壇等の草取り

※活動日時は第2月曜日 9時半から11時半

※雨天中止

平成4年度 花の応援回活動実績 (令和4年12月現在)

月	日	男	女	合計
4	11	2	6	8
	28	2	7	9
5	9	2	7	9
6	13	1	4	5
7	11	0	5	5
9	12	0	4	4
10	17	0	6	6
11	14	0	7	7
12	12	0	7	7
3	13			
合計		7	46	60

※当初予定していた、花の苗の配布が無くなったため、2回減り本年度は計10回を予定

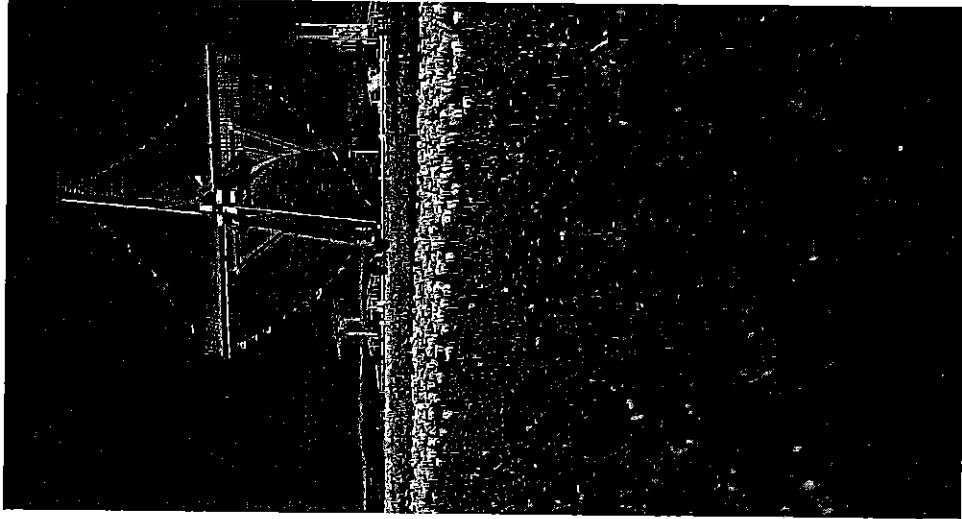
■ 活動の様子

◎4月花壇の手入れ様子(4/11)

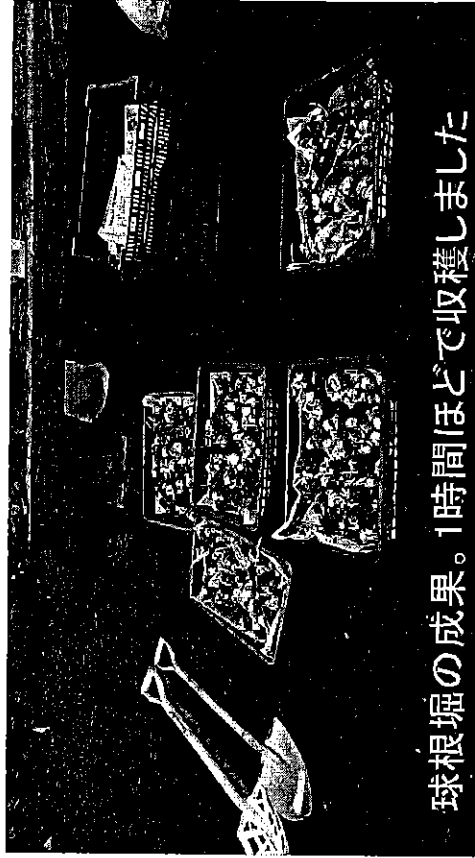
昨年植えたチューリップが見ごろになってい
ます。



◎ふるさと広場での、チューリップの球根掘り(4/28)



球根掘りを行う会員の様子

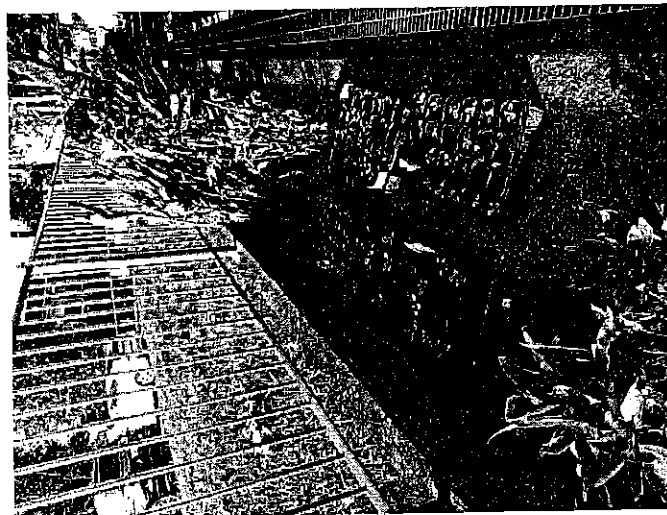


球根掘りの成果。1時間ほどで収穫しました

◎花の苗づくり(9/12)

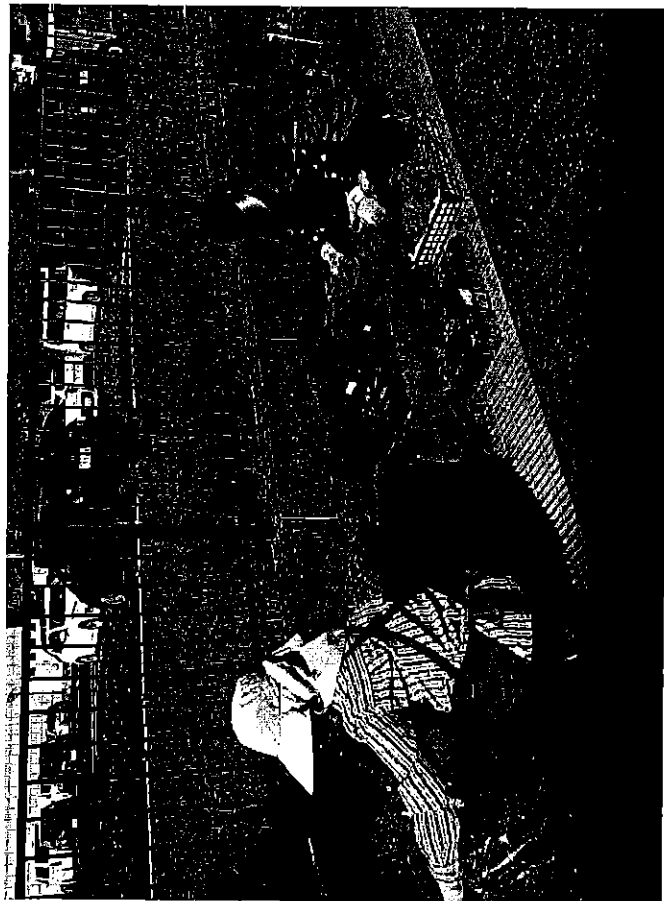


↑花の種まき。会員同士がまき方を話し合いながら作業が進められました。



↑植え付けから数週間後、発芽した苗

◎花の苗の植え付け(11/14・12/12)



↑チューリップの球根、パンジーやビオラの苗を植えています。

■工夫した点

- ▶ 会員が、意欲を持って活動ができるよう、団体の主体性を尊重しながら支援を行った。
- ▶ 活動内容を市民に周知することで、学習意欲の向上を図った。

■ 団体への支援

- ▶活動が円滑に出来るように連絡調整。
- ▶活動に必要な道具等の提供。
- ▶根郷公民館だよりに紹介記事を掲載するほか、チラシを配布・掲示し市民に周知をする。
- ▶職員が活動の補助を行う。

◎「根郷公民館だより」掲載の募集記事

ボランティアを
求めています

■花の応援団メンバー募集

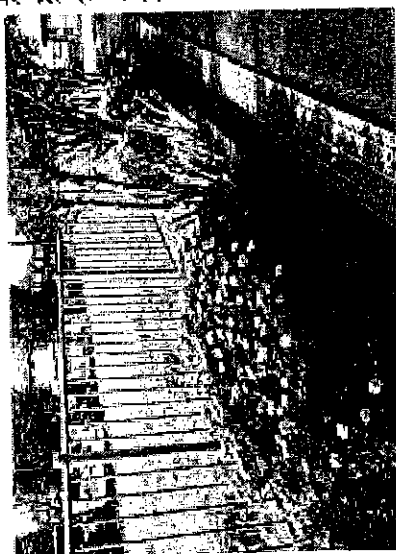
サークル「花の応援団」は、花作りのボランティア団体として、根郷公民館の花壇の草取り、苗木の植え付けなどの活動を行つていきます。花壇の手入れを通して、施設の美化に努め、併せて仲間作りをしています。来館した際、季節の花に目を止めてみませんか。

●活動日時 第2月曜日

午前9時30分～11時30分

●活動場所・問い合わせ

根郷公民館



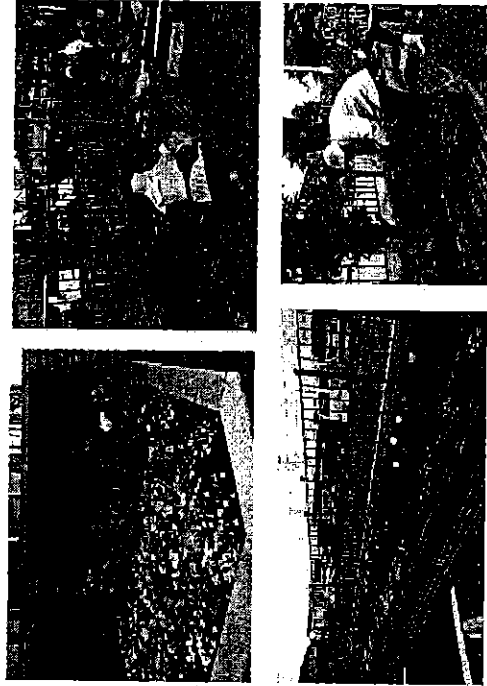
公民館駐車場の花壇

◎募集チラシ

『花の応援団』

メンバー募集中!!

「花の応援団」は、根郷公民館の花壇の手入れをするボランティアを行っています。
 根郷公民館をご利用いただく皆さんに、四季折々の花を眺めながら、気持ちよく使用して頂けるよう活動しています。
 主な活動日は第2月曜日、2時間程度。年間12回程度活動しています。また、活動を通し仲間づくりも行っています。



問い合わせ：佐遷市立根郷公民館 ☎486-3147 担当 柳田

■ 成果

▶20年以上にわたり、花壇の植栽や整備、草刈りなどの活動を続けてきたことで、公民館利用者の学習環境の向上に大きな役割を果たしてきた。

▶平成30年度の佐倉市教育功労者表彰式では、市の教育、学術または文化の振興などに顕著な功績のあったとして表彰された。



↑表彰される藤木会長

■ 課題

- ▶ 会員の減少と高齢化が問題である。15名前後で活動していた時期もあったが、近年会員は減少傾向にある。ちなみに令和4年度は10名となっている。
- ▶ 終了した花の苗の配布に替わる対応の改善が必要。

■ 対策・今後の展望

- ▶「根郷公民館だより」への継続的な募集記事の掲載、募集チラシを他の主催事業で配布、館内配架など宣伝の強化してゆく。
 - 新型コロナウイルス対策の規制緩和に伴い、応募の増加が期待できる。
- ▶ 花の栽培、庭の手入れなどに関する園芸講座を開催し、新たな側面から市民にアピールする。
 - 団体の成立は平成11年開催の「園芸講座」からであり、新たな会員の掘り起こしが期待できる。
- ▶ 花の苗の配布の代替策については、方法、時期などを考慮して会員と相談しながら計画的に進めていく。
 - 計画的に栽培することで、年間を通し開花するよう対応できる。

事業名	佐倉学入門講座・地域人材育成講座 佐倉道を歩く				
ジャンル	家庭教育	青少年教育	成人教育	団体育成	
日程	10月28日～12月2日	講師	佐倉道を歩く会	参加費	1,000円（保険料）
対象者	成人	参加者数 (延べ)	48人（審議委員等を含む）	募集方法	チラシ
趣旨	【佐倉学入門】 佐倉城主が参勤交代で通行した佐倉道を座学と実歩で学び、佐倉道・城下町佐倉周辺の歴史理解を深め愛着を見出すことで郷土意識をもつ 【地域人材育成】 郷土佐倉の歴史を次世代に伝える人材を育成する				
内容	【佐倉学入門】 ・第1回：佐倉道総論座学（5時間） ・第2回～第6回：江戸川～佐倉大手門跡までを実歩（1区約10km） 【地域人材育成】 ・平成30年度「佐倉道を学ぶ」受講生が講師を務める				
工夫	【佐倉学入門】 ・初回到座学を行い、実歩のみでは説明しきれないものを事前に学習するプログラムとした。 ・A5サイズのハンドブックを作成し、街道歩きの際に参照やメモが取りやすいようにした。 【地域人材育成】 ・講師と1区～5区を試行し、時間管理表の作成や、交通上特に気を付ける箇所の事前確認を行った。 ・実歩区間が終わることに反省点等を共有し、実施する期間内でできる改善を図った。				
成果	【佐倉学入門】 ・佐倉と周辺地域の歴史理解を深めることができた ・受講生と講師、共に歴史への学習意欲が高まった 【地域人材育成】 ・昨年度までの受講生が街道での安全確保や案内を行い、講師としての経験を積むことができた。 ・受講生が団体を作り、講座終了後も史跡研究を継続して行っている。				
課題	【佐倉学入門】 ・実歩区間割りの見直し1区間平均10km → 7km～8km 街道上での安全確保…定員制限・参加者へお声かけ 【地域人材育成】 ・受講年齢層の拡大…電子申請サービス受付の検討 学習成果発表の場の確保…市内施設での活動成果の展示、様々な事業の展開をする				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・事業の優先度は高いか。
公平性	A	・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	A	・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。 C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。
特記		

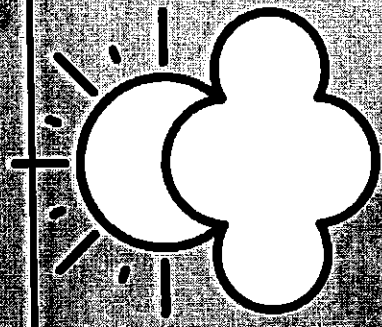
《凡例》 ① ← A B C D → ② ③ ④ ⑤

《判定例》

A	A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	A	A	A	A	A

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

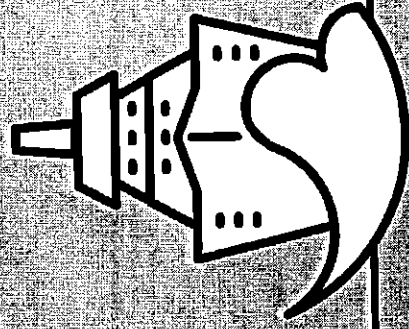
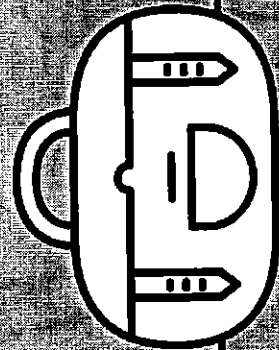
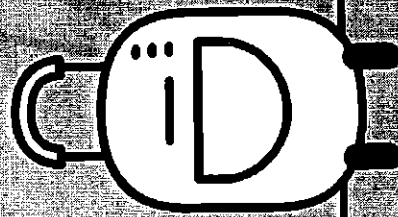
令和4年度佐倉市立公民館運営審議会事業発表

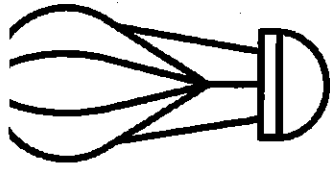
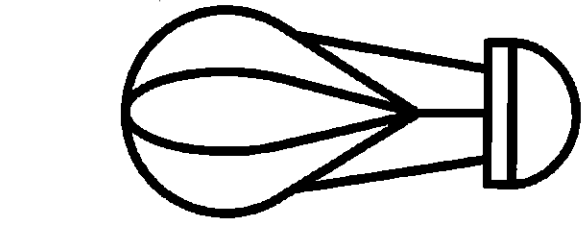


佐倉学入門・地域人材育成

佐倉道を歩く

成人教育事業 志津公民館・古谷理湖





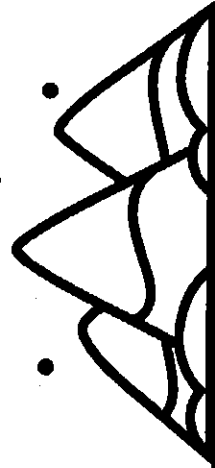
01 佐倉道とは

02 講座の趣旨

03 講座の紹介

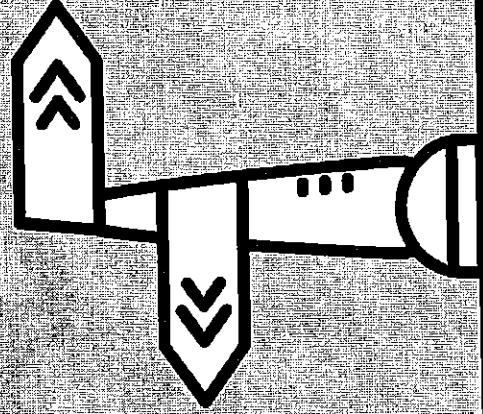
04 成果と課題、展望

目次



01

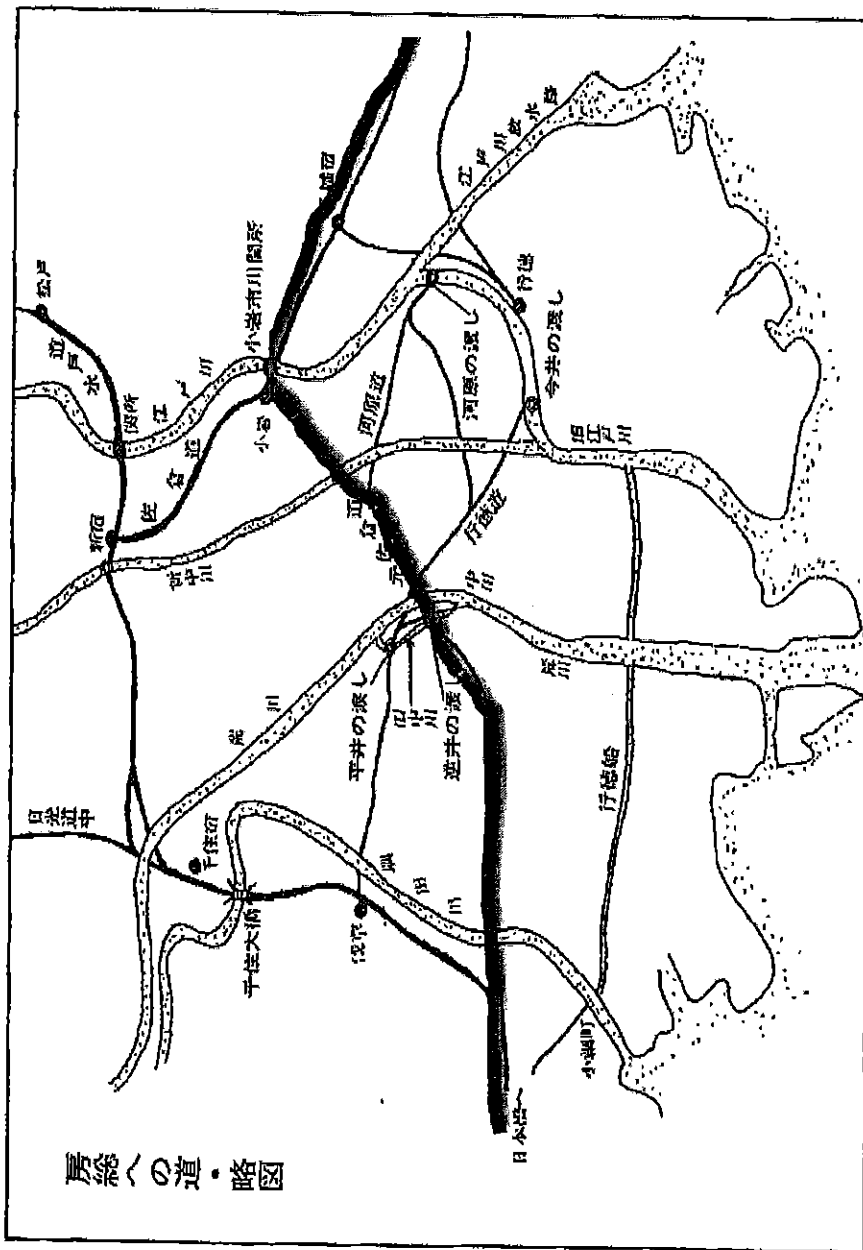
HISTORY



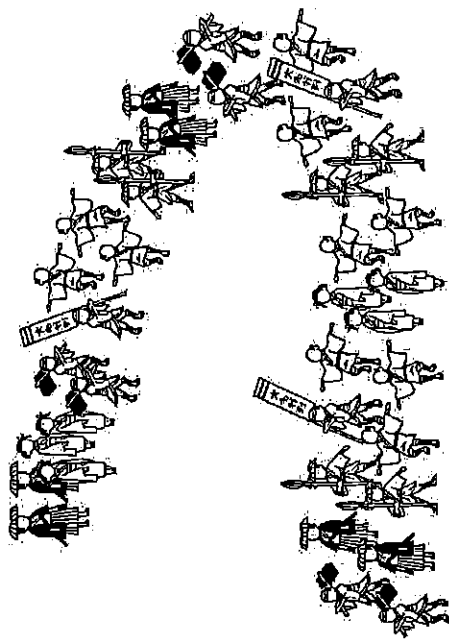
佐倉道とは

佐倉城主が参勤交代で通行した街道

厩総への道・略図



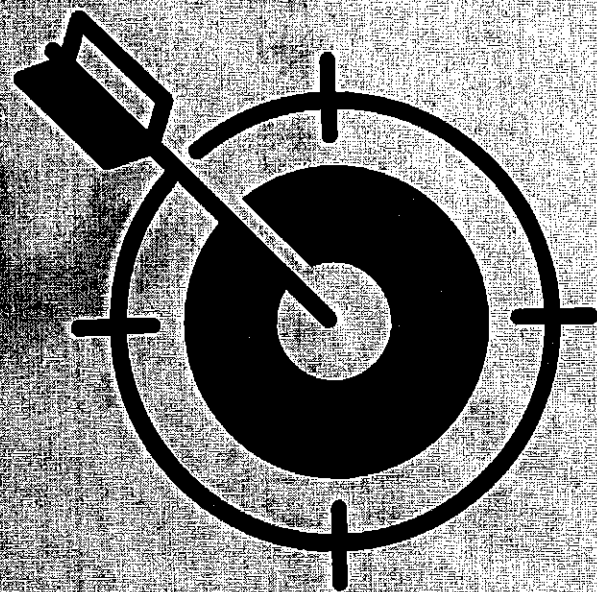
新宿～佐倉城大手門前



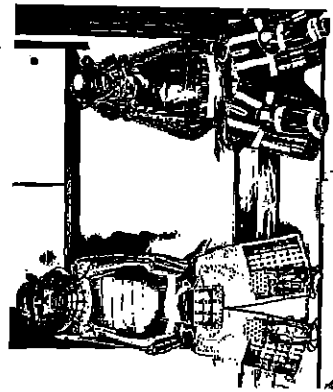
OUR AIM

02

講座の趣旨



歴史を深め、未来へ伝える



- 1 佐倉学入門（歴史）
佐倉道・城下町佐倉周辺の
歴史理解を深め愛着を見出
すことで郷土意識をもつ

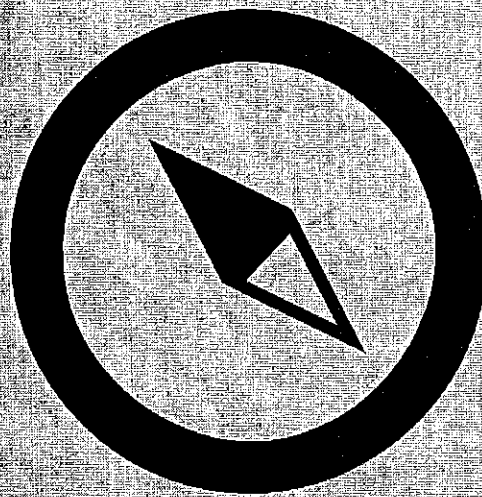
2 地域人材の育成

郷土佐倉の歴史を
次世代に伝える人材を育成する



OUR COURSE

03



講座の紹介

これまでの歩み①

平成22年度～平成29年度
佐倉道を歩く



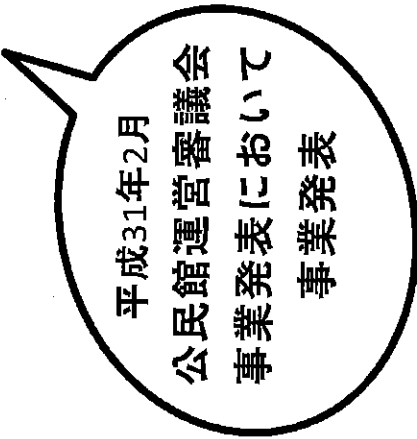
- 佐倉城下町400周年記念事業 (佐倉学入門)として実施



平成30年度
佐倉道を学ぶ



- 地域人材育成講座の要素を加え事業を継続
- 全6回の座学





平成30年度佐倉市公民館運営審議会 志津公民館事業発表

平成30年度

佐倉市公民館運営審議会事業発表

成人教育

「佐倉道を学ぶ」

志津公民館 森田伊和

講座の趣旨

- かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深める。
- 街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高める。
- 講師陣の高齢化により地域で活躍できる人材を育成する。

平成30年度佐倉市公民館運営審議会

事業評価の一覧より抜粋

- 地域で活躍できる講師人材を育成するという趣旨に終わりでなく、そこが面白くスタートになっていく企画が
- 講師となる人材を育成するためには、更に学習を深めていくと主体的な学習が不可欠であるとの検討をしながら実施していただきたい
- 一部区間は「街道歩き」により実感として必要もあり、次年度以降の事業に取り入れて頂きたい

これまでの歩み②

令和元年度
佐倉道を歩く



- フィールドワークの復活
- OB.OGが街道上の補助を行う

令和2年度
佐倉道を学ぶ



- 講座規模を縮小して実施(全1回)
- OB.OGが一部区間案内を務める

新型コロナウイルス
感染症拡大

令和3年6月

講師

(郷土史研究家)
村田一男先生
ご逝去



令和3年度
佐倉道を歩く

- 佐倉道を歩く会が講師を務める
- 全6回

令和3年9月

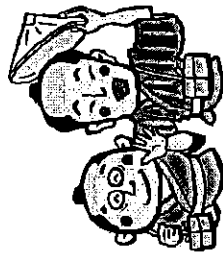
OB.OG中心に
佐倉道を歩く会
発足


概要

講座名	令和4年度佐倉学入門・地域人材育成講座 佐倉道を歩く
内容	佐倉道における江戸川から佐倉城大手門前まで（約50km）を 実際に歩き、周辺の史跡を学ぶ
講師	佐倉道を歩く会 ← <u>平成30年度受講生が中心となった講師陣</u>
定員	成人8人 ← <u>感染症対策・街道上での安全の確保から制限</u>
回数	全6回（座学1回・フィールドワーク5回）
受講料	1,000円（保険料）

プログラム

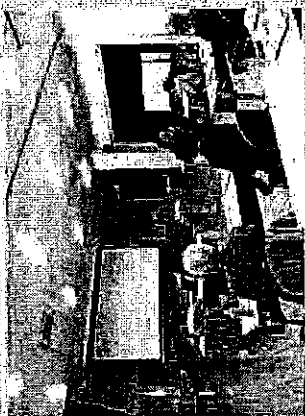

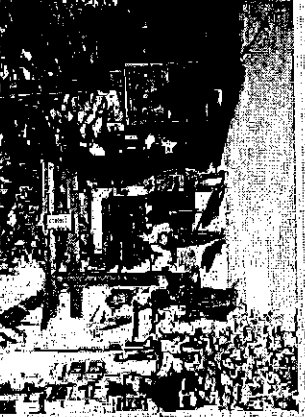


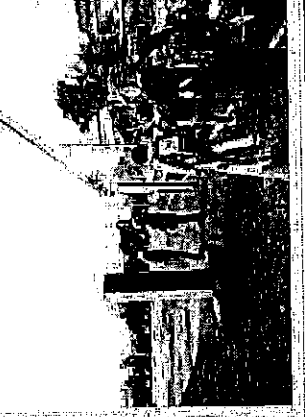
- | | | | |
|----|-----------|-------------|-----------------|
| 1回 | 10月28日(金) | 10:00~16:00 | 座学 (総論・各区みどころ編) |
| 2回 | 11月4日(金) | 9:00~16:00 | 1区 江戸川~西船橋 |
| 3回 | 11月11日(金) | 9:00~16:00 | 2区 西船橋~葉園台 |
| 4回 | 11月18日(金) | 9:00~16:00 | 3区 葉園台~京成大和田 |
| 5回 | 11月25日(金) | 9:00~16:00 | 4区 京成大和田~京成臼井 |
| 6回 | 12月2日(金) | 9:00~16:00 | 5区 京成臼井~佐倉城大手門跡 |



 工夫

初回到座学を集中して行い、実歩で資料と照らし合わせながら理解を深める

講座の様子(写真)

<p>第1回 座学 写真：志津公民館大会議室</p> 	<p>第2回 江戸川～西船橋 写真：小岩市川の渡し跡・関所跡</p> 	<p>第3回 西船橋～薬園台 写真：御蔵稻荷神社</p> 
<p>第4回 薬園台～京成大和田 写真：さわ田茶屋</p> 	<p>第5回 京成大和田～京成臼井 写真：加賀清水入口の石塔群</p> 	<p>第6回 京成臼井～佐倉城大手門跡 写真：佐倉城大手門跡</p> 

歩く!!が第1の目的だったが、歴史の面白さを知ることができた。また公民館の講座に参加したい。

60代 女性

葛飾八幡宮が印象的だった。佐倉から成田の道のりも歩いてみたい。

60代 女性

すべての区間に気に入った史跡があった。コースからランチの手配まであって満足している。

60代 女性

70代 女性

色々な知識を得ることができた。成田まで延長して歩きたい。

佐倉にこんなたくさん歴史があるとは知らなかった、また参加したい

70代 男性

『佐倉道を歩く』特製のガイドブックがあり、大変解りやすかった。

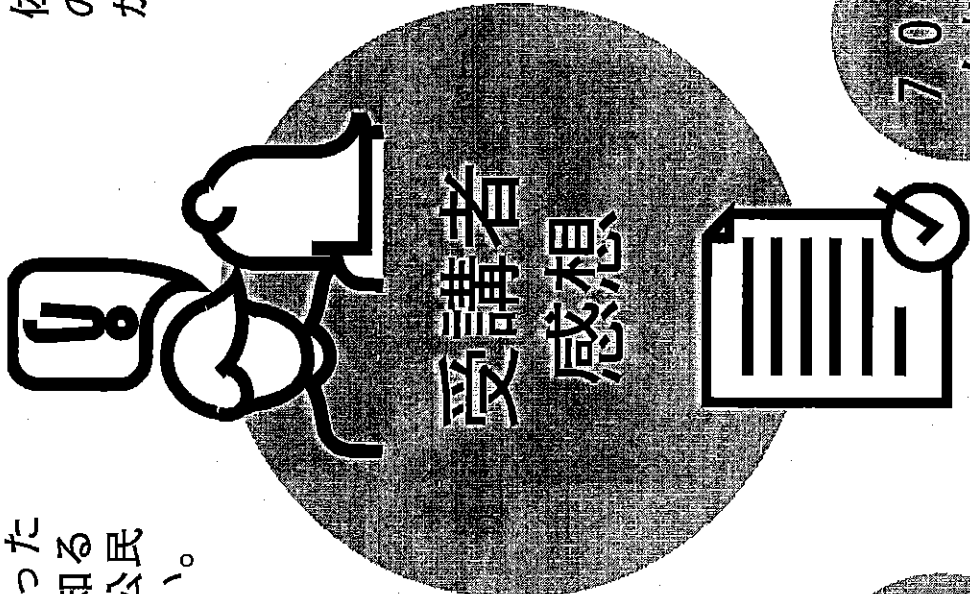
80代 男性

光勝寺が印象的だった、説明がわかりやすい

70代 女性

一人で歩くのは無理でも皆さんと一緒なら参加した。完歩でき、市川江戸川など新発見があったよかった

70代 女性



アンケート結果

① 受講満足度

満足した・・・8人中8人

年齢	60代	70代	80代
男性	0	1	1
女性	3	3	0

② 目的達成(佐倉や周辺地域の歴史理解)

達成できた・・・8人中8人

満足度

より高い
目標設定が必要

③ 佐倉道についての学習継続意欲

意欲がわいた・・・8人中8人

全項目
100%

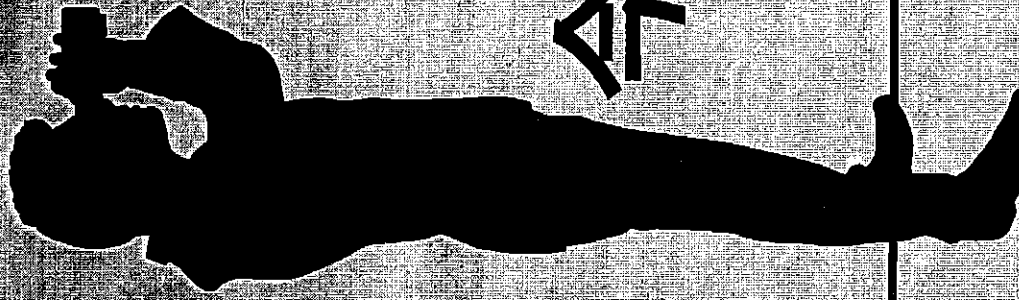
佐倉道
学習意欲

目的
達成

PROCESS

04

成果と課題



今後の展望

佐倉学入門（歴史）

- 佐倉と周辺地域の歴史理解を深めることができた
- 受講生と講師、共に歴史への学習意欲が高まった
- 実歩区間割りの見直し
1区間平均10km → 7km～8km
- 街道上での安全確保
定員制限・参加者へお声かけ

成果

- 「佐倉道を歩く会」が講師として実績を積んだ
- 受講者から新たなサークルが誕生し、学習を継続している
- 受講年齢層の拡大
電子申請サービス受付の検討
- 学習成果発表の場の確保
市内施設での活動成果の展示
様々な事業の展開をする

課題

今後の展望

05 普及啓発

パンフレットの作成
市内施設での展示
千葉文化資産への申請

04 史跡の保全

実費での成田山道標修復

01 講師

歴史講座・街道案内

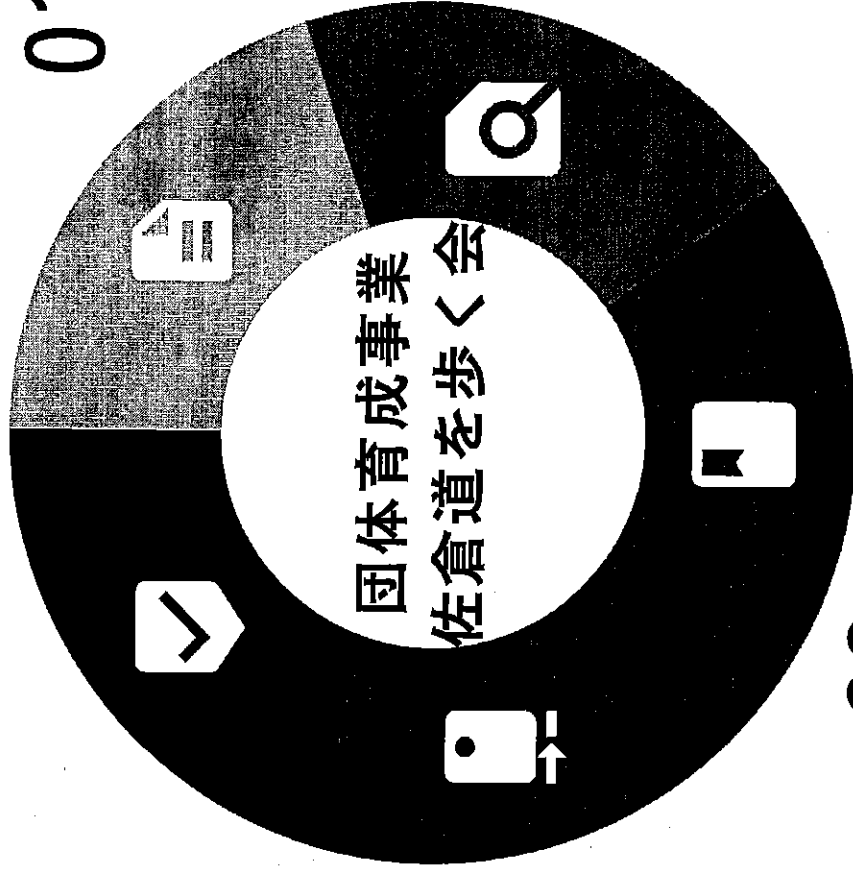
02

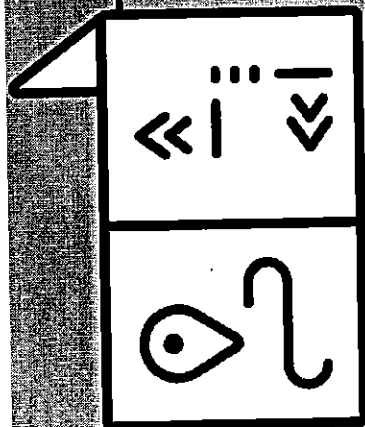
街道の研究

佐倉道・成田道研究

03

伝統文化継承 井野の辻ざり等





TO BE CONTENUED...

令和5年度 佐倉道を歩く

ご清聴ありがとうございました

事業名	ちょっといいとこ見て歩き				
ジャンル	家庭教育	青少年教育	成人教育	団体育成	
日程	①10月20日 ②11月28日	講師	①森 秀夫 ②遠山成一	参加費	無料
対象者	一般	参加者数 (延べ)	27人	募集方法	こうほう佐倉、配布チラシ
趣旨	佐倉市内や近隣地域の見学学習を通して、歴史・文化・自然の成立ちや変化について学び、理解を深めることを目的として実施します。				
内容	今年度は臼井・千代田地区のほか、和田地区～酒々井町を訪問地に設定。このルート(②)では「風媒花」35号執筆者を講師に迎えて、刊行物と現地見学を組み合わせ、市内に残る古道について総合的に学ぶことを目指しました。 ①「臼井城主ゆかりの寺を訪ねて」…臼井城主臼井氏ゆかりの浄光寺(羽鳥)を臼井在住の臼井八景・八力寺めぐり実行委員会を主宰する市民講師の案内で訪ね、臼井に隣接する千代田地区との歴史的つながりを学びました。 ②「佐倉の古道をたどる 一東海道香取路」…市文化財審議委員の案内で、かつて香取神宮など下総東部をつないだ古道をたどり、道の変遷や沿道の歴史文化を学びました。				
工夫	第2回は、佐倉市教育委員会の文化課が編集発行する文化情報誌、「風媒花」第35号(7月発行)特集「佐倉の道と交通史」の執筆者・遠山成一氏の案内で探訪しました。同氏には、前週に開催した臼井公民館佐倉学講座でも「佐倉の道の歴史」について講演していただきました。 「座学と現地見学」という別事業であってもテーマを関連付けることで市民の興味を引き付け、更にとちらも参加した者には学習に相乗効果が生じるよう事業設定しました。				
成果	「見て歩き②」参加者のほとんど全員が前述の佐倉学講座も受講しており、現地での見学学習に高い関心を持って臨んでいる様子でした。市内には成田街道に代表される“メジャー”な道ばかりでなく、ほかに古道が依存するが、それらにも興味を持つ方が潜在的にいることがわかりました。 「風媒花」を読み佐倉学講座を受講した(道に関心が高い)方であっても、「記事で探り上げた古道がどこにあるのかわからなかった」という声が聞かれました。本事業で現地に赴き講師の案内で実際に歩いてみることで、はじめて歴史の道を体験として理解することができ、参加者から「もっとほかの道も…」というリクエストが上がりました。				
課題	本事業で訪れる場所は交通の便が良くないことが多く、トイレの心配が付きまといま。また、ルートを選定するにあたり、現地まで移動する公共交通が乏しいことに直面します。バス路線があっても本数が少なく、実施時刻が限定されるつえに柵路で乗り遅れることは避けなければなりません。 加えて、参加者の歩行能力に差があり、予定時間内のペース配分に注意が欠かせません。今後、訪問地を選定する際は、これらを含めて慎重に検討することが大切であると感じました。				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> 公民館が行う必要があるか。 市民や利用者のニーズに合っているか。 目的や役割が薄れていないか。 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいのか。
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業の優先度は高いか。
公平性	B	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に情報は流れているか。 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	<ul style="list-style-type: none"> 期待通りの成果が得られているか。 さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 市民の満足度は高いか。
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性はどうか。 事業運営に学習者が参画しているか。 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	<p>A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。</p>
特記		

《凡例》 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

《判定例》

A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

成人事業



「ちよつといいとこ見て歩き」



～ あるくみるきく で佐倉を知る ～



令和4年度 臼井公民館事業評価資料

2 事業「ちよつといいとこ見て歩き」

▶ 趣旨・概要

佐倉市内や近隣地域の見学学習を通して、歴史・文化・自然の
成立ちや変化について学び、理解を深めることを目的として実施
します。

成人教育



■ 事業対象：一般成人

■ 定員：各15人⇒ 受付実績 各15人 計30人
(当日参加実数：①13人 ②14人)

■ 講師

第1回 森秀夫

(臼井八景・八力寺めぐり実行委員会)

第2回 遠山成一

(佐倉市文化財審議会副委員長)

(令和4年度)

第1回 ちよつといとこ見て歩き

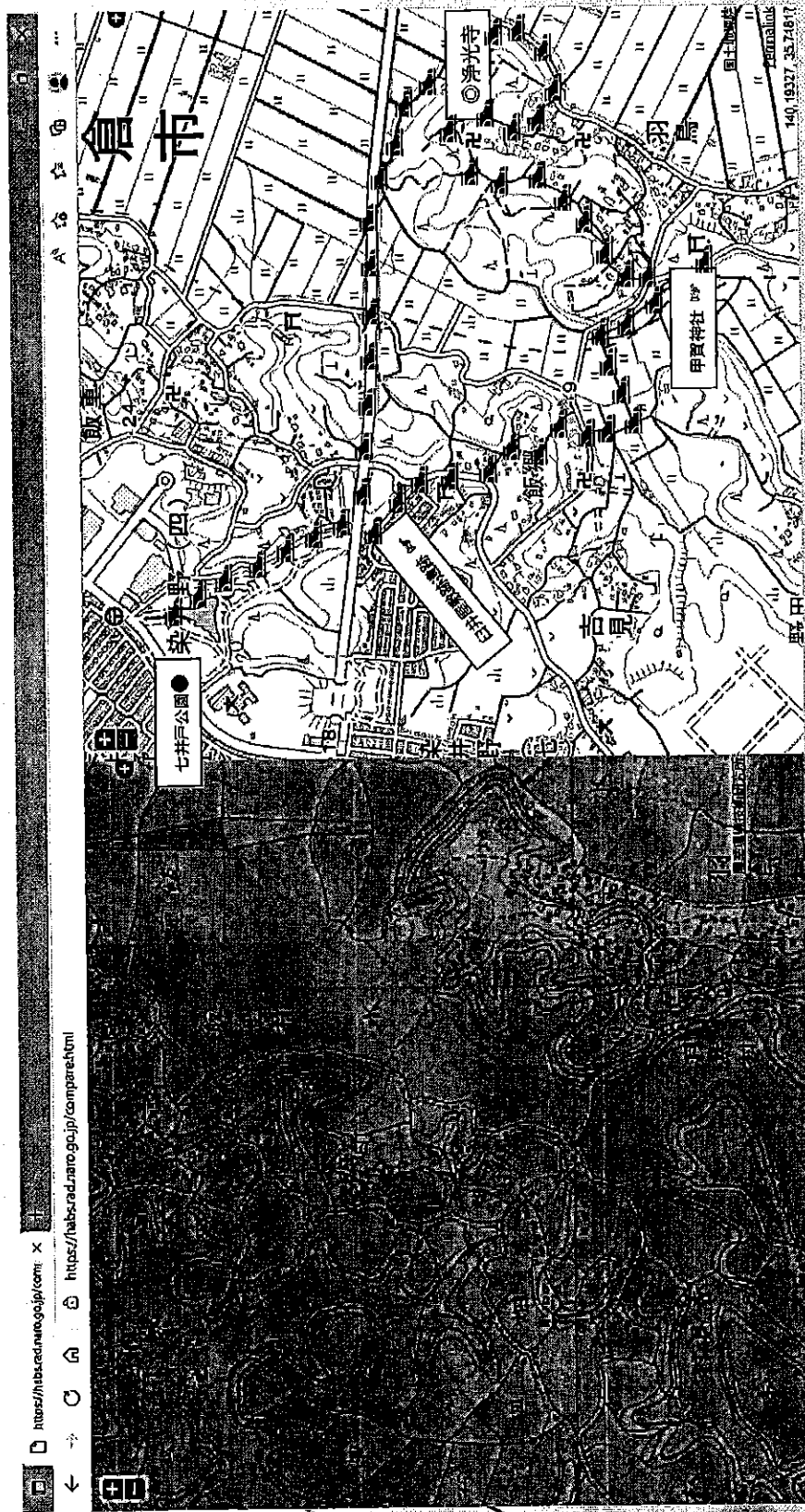
「臼井城主ゆかりの寺を訪ねて」

▶ 10月20日 (木)

七井戸公園から臼井城主臼井興胤が子息 (道菴) 養育のため羽鳥に建てた寺、浄光寺を目指して歩きました。



「臼井城主ゆかりの寺を訪ねて」 10月20日 (木) 9:45~12:00



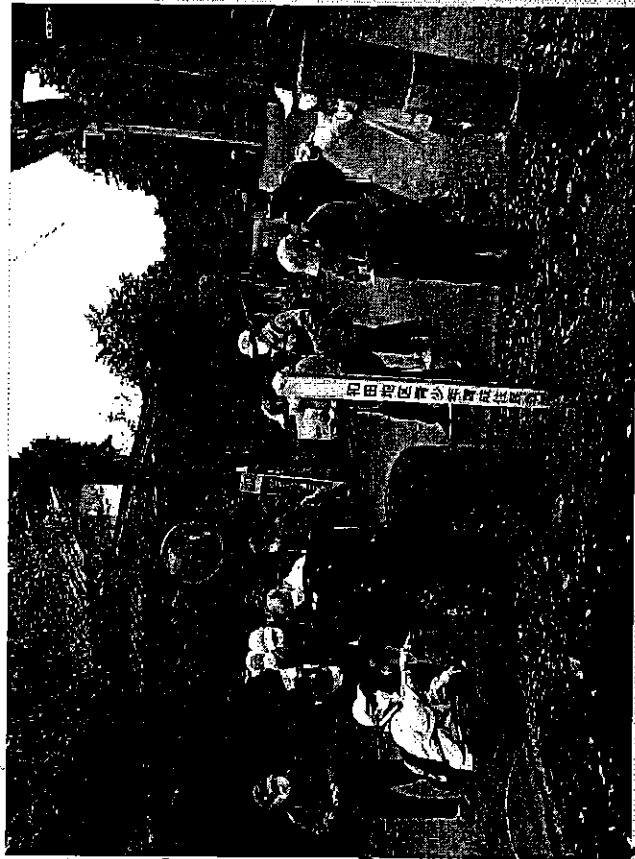
【当日配布資料】

歴史的農業環境閲覧システム（農研機構農業環境変動研究センター）より

第2回 ちよつといいとこ見て歩き

「佐倉の古道をたどる」 古東海道香取路

▶ 11月28日 (月) 12:45 ~ 16:00



講師による石造物の解説



古道に行く参加者

風媒花を テキストに!

7

・佐倉市教育委員会の文化課が編集発行する文化情報誌「風媒花」

・今年7月発行の第35号の特集は、「佐倉の道と交通史」

・巻頭記事「佐倉の道の歴史」古代・中世編一筆者・遠山成一先古生に記事で採り上げた古東海道香取路(ことうかいどう)かどりのみたく

・歩行区間は、今市バス停〜7本佐倉バ又停留間の約4km

【下写真】

古道の雰囲気は濃く感じられる(爪木)

特集

佐倉の道と交通史



山田正樹 撮影。佐倉市立歴史博物館蔵



山田正樹 撮影

第35号/2022 風媒花



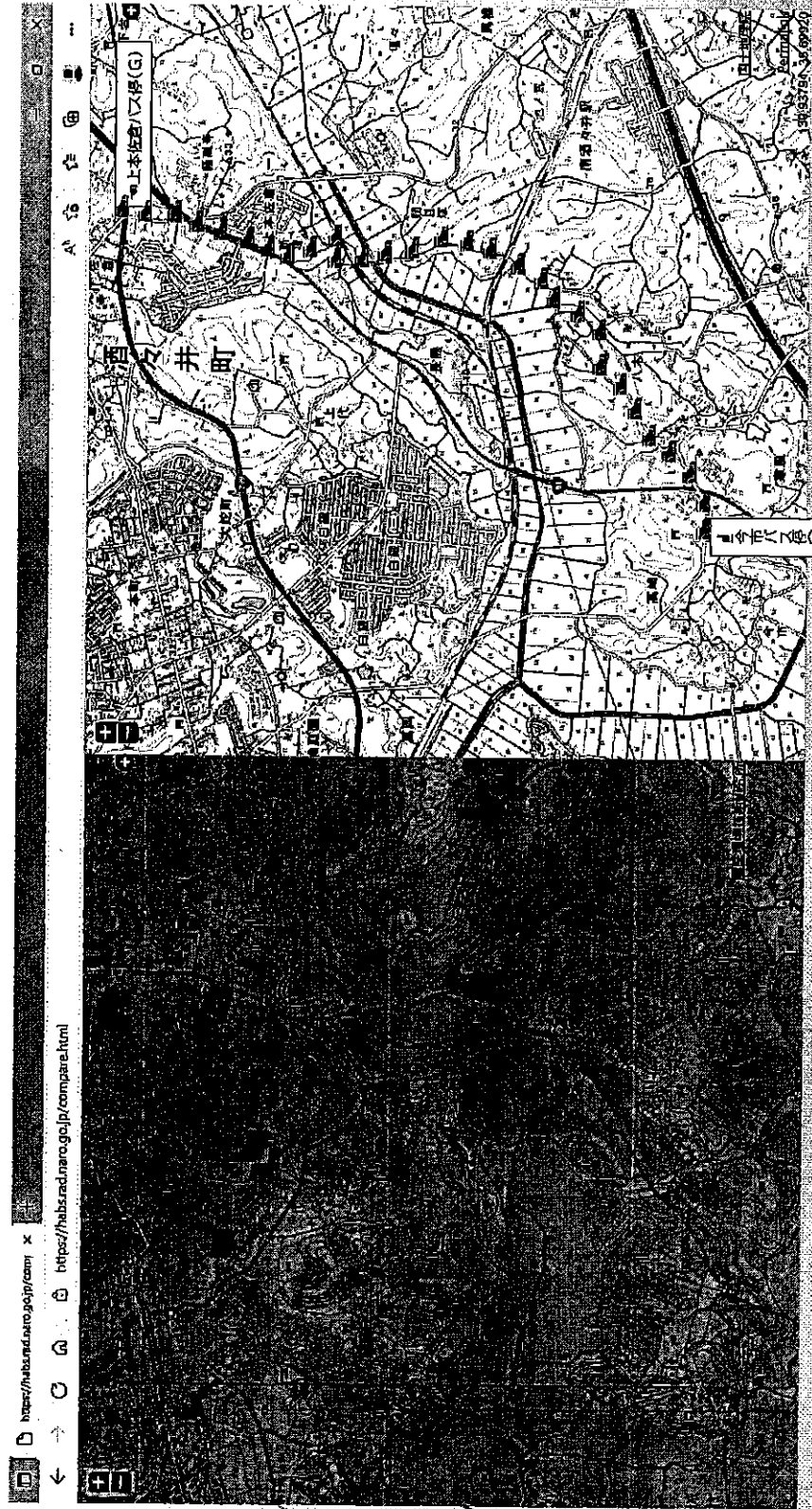
本誌「特別増刊」
(川崎 民太 150 冊収録)
発行部数に限り、在庫限りで、161号刊行後、1冊1冊で、
本誌の発行部数を減らす必要が生じ、お詫言いたした。

目次

巻頭	佐倉の道と交通史	山田正樹	1
1	佐倉の道と交通史	山田正樹	1
2	佐倉の道と交通史	山田正樹	2
3	佐倉の道と交通史	山田正樹	3
4	佐倉の道と交通史	山田正樹	4
5	佐倉の道と交通史	山田正樹	5
6	佐倉の道と交通史	山田正樹	6
7	佐倉の道と交通史	山田正樹	7
8	佐倉の道と交通史	山田正樹	8
9	佐倉の道と交通史	山田正樹	9
10	佐倉の道と交通史	山田正樹	10
11	佐倉の道と交通史	山田正樹	11
12	佐倉の道と交通史	山田正樹	12
13	佐倉の道と交通史	山田正樹	13
14	佐倉の道と交通史	山田正樹	14
15	佐倉の道と交通史	山田正樹	15
16	佐倉の道と交通史	山田正樹	16
17	佐倉の道と交通史	山田正樹	17
18	佐倉の道と交通史	山田正樹	18
19	佐倉の道と交通史	山田正樹	19
20	佐倉の道と交通史	山田正樹	20
21	佐倉の道と交通史	山田正樹	21
22	佐倉の道と交通史	山田正樹	22
23	佐倉の道と交通史	山田正樹	23
24	佐倉の道と交通史	山田正樹	24
25	佐倉の道と交通史	山田正樹	25
26	佐倉の道と交通史	山田正樹	26
27	佐倉の道と交通史	山田正樹	27
28	佐倉の道と交通史	山田正樹	28
29	佐倉の道と交通史	山田正樹	29
30	佐倉の道と交通史	山田正樹	30
31	佐倉の道と交通史	山田正樹	31
32	佐倉の道と交通史	山田正樹	32
33	佐倉の道と交通史	山田正樹	33
34	佐倉の道と交通史	山田正樹	34
35	佐倉の道と交通史	山田正樹	35
36	佐倉の道と交通史	山田正樹	36
37	佐倉の道と交通史	山田正樹	37
38	佐倉の道と交通史	山田正樹	38
39	佐倉の道と交通史	山田正樹	39
40	佐倉の道と交通史	山田正樹	40

風媒花 - 風が運ぶ花の物語

ちよつといとこ見て歩き「佐倉の古道をたどる」古東海道香取路 11月28日 (月) 12:45~16:00



歴史的農業環境閲覧システム (農研機構農業環境変動研究センター) より

【当日配布資料】



古東海道香取路

- 古代の都・奈良と下総国は「東海道」で結ばれていた。さらに常陸国へは荒海（現成田市）から内海を渡り、北へと道がつながっていた。9世紀初めころ、武蔵国側から北上するルートに変更されてからも、この「古東海道香取路」は香取・鹿島神宮への参拝路として人々の往来があった。
- このルートは、現在の国道51号線と重なる部分が多いが、国道とは異なる経路がある。市内では、高崎～八木～長熊に至る旧道部分で、往時の雰囲気の色濃く残る。
- （左写真：八木の約400m区間）自動車の通行は不可。現在は歩行者のみ通行可。
- 地元では、今もここを「成田みち」と称している。

ちょっと
付け足し

古い地図と見比べ、変化を知る



現在の状況

歴史的環境閲覧システム

このページでは、明治初期から中期にかけて関東地方を対象に作成された「速測図」と、現在の道路（路線）、河川（水色線）、鉄道（灰色）、土地利用図とを比較することにより、農村を取り巻く環境の歴史的な変化が閲覧できます。

地図は、ドラッグで移動することができ、他の地域を閲覧したい場合は、下のリンクから選んでください。

- 東京都 墨江 立山
- 神奈川県 横浜 芝区 小田原
- 埼玉県 さいたま市 熊谷
- 千葉県 千葉 柏 鎌倉 成田 茨城
- 千葉県 館山
- 茨城県 水戸 土浦 鹿嶋
- 栃木県 小山
- 群馬県 前橋

歴史的環境閲覧システムへようこそ

https://his.mnaro.go.jp/habr.html?zoom=130&lat=35.77792&lon=140.31552#layers=80

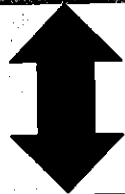
歴史的環境閲覧システム

明治時代の地図から過去の様子を知る

(インターネットで公開されている、明治十年代の陸軍迅速測図から当時の地形・道路・植生などの情報が得られ、比較が可能)

「ちょっといいところ見て歩き」成果・課題と展望

「善いねん堂」(重録) = 執筆
 善いねん堂(重録) = 執筆



- 定員が少数な事業にもかかわらず、当日不参加者が出てしまう
- 団体行動での時間配分の難しさ

展望

- ◎ 定番企画のマンネリ回避のため、新規内容の付加や切り口を変え、市民が関心を持つ歴史文化を採り上げる
- ▶▶ 新たな参加者を集め 学習効果を高める

